

平成29年度県民アンケート調査結果 集計確報の要点について

総務部知事公室 統計課

1 生活全般について(経年変化をみる項目 一部除きH20から実施)

- 現在の暮らし向きに満足している人の割合は64.5%で、昨年度から増加。 【問1】
「満足している」 + 「十分とはいえないが一応満足している」
1.9ポイント増加(H28:62.6%→H29:64.5%)
- 昨年と比較して暮らし向きが楽になった人の割合は9.4%で、昨年度から増加。 【問2】
「とても楽になった」 + 「少し楽になった」 0.5ポイント増加(H28:8.8%→H29:9.4%)
- 暮らし向きが「楽になった」理由の1位は、「給料や収益が増加したから」(36.6%) 【問3】
- 日常生活で悩みや不安を「感じている人」の割合は78.9%と昨年度から減少し、「感じていない人」の割合は19.0%と昨年度から増加。 【問5】
・「悩みや不安を感じている」 …2.2ポイント減少(H28:81.1%→H29:78.9%)
・「悩みや不安を感じていない」 …1.8ポイント増加(H28:17.2%→H29:19.0%)
- 奈良県に住みやすいという人の割合は64.4%で、昨年度から増加。 【問7】
「とても住みやすい」 + 「どちらかといえば住みやすい」 0.2ポイント増加(H28:64.3%→H29:64.4%)

2 生活に関する重要度・満足度(経年変化をみる項目 H20から実施 5段階ポイント評価)

- 平均ポイント、重要度は横ばい(H28:3.96→H29:3.96) 【問11】
満足度は0.04ポイント増加(H28:2.93→H29:2.97)
- 重要度の1位…「急病時に診てもらえる医療機関があること」
0.01ポイント増加(H28:4.57 1位→H29:4.58 1位)
- 満足度の1位…「文化遺産や史跡が大事にされること」
0.03ポイント減少(H28:3.58 1位→H29:3.55 1位)

3 観光振興について(今年のテーマ項目)

- 知人等をもてなすために観光・レクリエーションに出かける地域は、「A地域」が1位(60.1%) 【問12】
A地域：奈良市、生駒市、天理市、大和郡山市、香芝市、平群町、三郷町、王寺町、斑鳩町、
広陵町、山添村、安堵町、上牧町、河合町
- A地域へ出かける目的は、「歴史や文化財に触れる(寺社、世界遺産など)」が1位(81.9%) 【問13】

4 雇用対策について(今年のテーマ項目)

- 県外で働いている人は23.9%で、県外の勤務先の1位は「大阪府」(78.8%) 【問15】
- 県外で働いている人のうち、県内で働きたいと考えたことがある人は55.2%で、これらの人が
県外で働く理由は「県内にぜひとも働きたいと思う会社がないから」(23.8%)が多い。 【問16】
- 勤務先の在宅勤務制度等を「利用していない」人の割合は92.1%で、その理由の1位は、
「特に必要と感じないから」(46.0%) 【問19】

5 健康づくりについて(今年のテーマ項目)

- この1年間に自らの健康づくりのためにしたことは、「野菜を食べるように心がける」が1位で、
昨年度から増加。 0.9ポイント増加(H28:73.7%→H29:74.6%) 【問20】
- 今後したい健康づくりは、「自分にあった適度な運動をする」が1位で、昨年度から増加。
0.3ポイント増加(H28:43.3%→H29:43.6%)

6 女性の活躍推進について(今年のテーマ項目)

- 「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方について、「賛成」は43.8%でH27年度から減少し、「反対」は49.7%でH27年度から増加。【問21】
・「賛成」 + 「どちらかといえば賛成」 2.4ポイント減少(H27:46.2%→H29:43.8%)
・「反対」 + 「どちらかといえば反対」 1.9ポイント増加(H27:47.8%→H29:49.7%)
- 賛成の理由の1位は、「妻が家庭を守った方が、子どもの成長などにとって良いと思うから」【問22】
0.4ポイント増加(H27:68.3%→H29:68.8%)
- 反対の理由の1位は、「固定的な夫と妻の役割分担の意識を押しつけるべきではないから」【問23】
0.2ポイント増加(H27:64.2%→H29:64.4%)

7 子育て支援について(今年のテーマ項目)

- 子育てに関する6項目の中で、満足度は「気軽に相談できる環境が整っている」が一番高い。【問24】
0.43ポイント増加(H26:2.78→H29:3.22)

8 文化振興について(今年のテーマ項目)

- この1年間に文化活動又は文化鑑賞をした人の割合は49.6%で、昨年度から増加。【問25】
「文化活動と文化鑑賞をした」 + 「文化活動だけをした」 + 「文化鑑賞だけをした」
0.6ポイント増加(H28:49.0%→H29:49.6%)
- ムジークフェストならの認知度は33.1%で、昨年度から増加。【問26】
「知っている」 1.0ポイント増加(H28:32.1%→H29:33.1%)

9 スポーツ振興について(今年のテーマ項目)

- この1年間に1日でも運動・スポーツを行った人の割合は53.8%。【問28】
- 1年前と比べて運動・スポーツの実施頻度が減った、または増やせていない人の割合は57.5%。
その理由の1位は、「仕事や家事が忙しいから」(46.3%) 【問30】

10 安全・安心の確保について(今年のテーマ項目)

- 現在の奈良県の治安情勢について、「良い」又は「やや良い」と感じる人は42.3%。【問31】
- 地方公共団体が犯罪やトラブル等の被害から県民を守るために優先して推進すべき政策の1位は、「学校及びその周辺における安全の確保」(44.3%) 【問32】
- 自然災害等に対して備えていることの1位は、「水、食料、救急医薬品、懐中電灯、ラジオなどの防災用品の備蓄」の41.1%で、H27年度から減少。 1.9ポイント減少(H27:43.0%→H29:41.1%) 【問35】
- 悪質商法等の消費者被害にあった経験について、「被害経験あり」が10.4%。【問36】
「二度以上被害に遭った」 + 「一度だけ被害に遭った」(10.4%)

11 景観・環境の保全と創造について(今年のテーマ項目)

- 地域で景観を損ねているものの1位は、「ゴミやタバコのポイ捨て」【問38】
3.8ポイント増加(H27:39.1%→H29:42.9%)
- 景観を守るため、行政が力を入れて取り組むべきことの1位は、「道路沿いの草刈りなど公共施設の維持管理を推進する」(60.4%) 【問39】

12 エネルギー政策の推進について(今年のテーマ項目)

- 再生可能エネルギー等の利活用への関心が、「大いにある」又は「少しある」人の割合は、「あまりない」又は「ほとんどない」人の割合を大きく上回っているが、H27年度と比較すると減少。【問40】
・「大いにある」 + 「少しある」 4.7ポイント減少(H27:65.2%→H29:60.5%)
・「あまりない」 + 「ほとんどない」 2.7ポイント増加(H27:15.1%→H29:17.8%)
- 省エネ・節電のため、日常的に取り組んでいることの1位は、「不要な照明を消す」(86.3%) 【問42】